

富良野市教育委員会だより

ZEROふらの

発行：富良野市教育委員会
住所：富良野市若松町5番10号
電話：0167-39-2320
FAX：0167-23-3528
Email：kyouiku-ka@city.furano.hokaido.jp

教育委員会の活動

市町村教育委員会新任委員研修会

令和2年11月16日（月）ウェブ会議システム「Zoom」による参加

参加者：津山委員・菅野委員・渡邊委員

○講義1：今日的教育課題と教育委員の役割 北海道教育委員会山本伸弘教育委員

・学校訪問などでの授業参観の視点について説明

○講義2：学校のICT化 なぜ必要なのか？

NPO法人ほっかいどう学推進フォーラム 新保元康理事長

・ICT+αで学校の働き方改革も進め、ICTの詳しい先生が担当するのではなく、若手の先生をサポートしながら進めると良い

○講義3：1人1台端末による学びのinnovation&evolution

北海道教育庁学校教育局教育環境支援課 泉大吾係長

・1人1台端末が整備された後は、ICTを使った各授業をフルスペックで考えてみる

○講義4：ICTを活用した学習指導の充実に向けて

北海道立教育研究所附属情報処理教育センター 山寺潤・田中耕一主任研究研修主事

・学習場面に応じたICT活用の具体的な事例紹介



その他の情報

・よみきかせサークル「ノントン」さんが、優良読書グループ北海道表彰本章を受賞されました。

教育長通信 ～特別支援教育の充実～

近年の少子化にもかかわらず、本市においても、特別な支援を要する児童生徒は年々増加傾向にあるとともに、障がいの重度・重複化、多様化が顕著になってきており、個々に応じた教育内容・方法の充実や、教育環境の整備が重要となってきています。また、知的発達等に遅れはないけれども、学習面や行動面に何らかの困り感を持つ児童生徒もおり、特別支援教育の一層の充実が求められています。

本市では、これらの課題解決のため、10年以上前から教育・医療・福祉等が連携し特別支援連携協議会を組織するとともに、市内小中学校に特別支援教育支援員を配置し、子どもの発達の状況に応じた教育支援を行ってまいりました。また、「特別支援教育マスタープラン」を策定・改訂しながら、各学校における支援体制や保護者や関係機関との連携強化、関係者の研修や交流などを進め、現在では全道的にも先進事例として取り上げられるなど大きな成果が上がってきています。

その様な中、今年度は「第4次特別支援教育マスタープラン」（令和3年～7年）の策定を進めており、先日、編集委員会（委員長：東小学校 桑原校長）より計画案の答申をいただきました。内容としては、これまでの成果を基盤に、個別の教育支援計画・指導計画を学校が保護者と連携して作成し、切れ目のない支援・教育活動や、成長の過程を保護者が実感できるような活用を図ること、そして、教員の専門性の一層の向上を図るなど、大変意欲的な内容になっています。また、早期から安心して特別支援教育を受けられるよう、保護者向けの「子ども支援ガイドブック」を作成するなど、保護者の気持ちに寄り添う取り組みも予定しております。

計画策定は、新たなスタートであります。これからも、支援を必要とする子どもたちが安心して地域で学び、育ち、社会参加し生活できる環境づくりをするとともに、子どもたち自身が幸せを感じられ、充実した日々を過ごしながら着実に成長できる取り組みを進めていきたいと考えております。

教育委員会会議録（令和2年10月～令和2年12月）議題一覧より抜粋

- 10月27日（火） ○議案第1号 富良野市青少年表彰規則に基づく令和2年度表彰者の決定について
- 議案第2号 子供たちにとって望ましい幼児教育・保育環境の確保に向けた指針（へき地保育所の今後の在り方について）の策定について
- 11月23日（月） ○議案第1号 富良野市いじめ問題審議会委員の委嘱について
- 12月21日（月） ○議案第1号 富良野市文化財保護条例の一部改正について
- 議案第2号 富良野市文化財保護条例施行規則の制定について
- 報告議案第1号 令和2年度富良野市一般会計補正予算の報告（専決処分）について

定例会は傍聴もできますので、教育委員会に事前にご連絡ください